



南国俳壇

黄檗支所 昼から埋葬許可 一つ
 廃校のぶらんこ揺る せおんせおん鳴る 森本美智 ()
 海へ出て秋蝶水際ばかり翔ぶ
 秋蝶の夕日に重き石たたみ
 砂丘墓地少年が来て冬の蝶
 比江城跡一絃切れたような北風
 夕秋の漏れる灯りに群れる虫
 秋風の花壇残して村を去る
 花すすき鑑区の風の波打ちて

南国歌壇

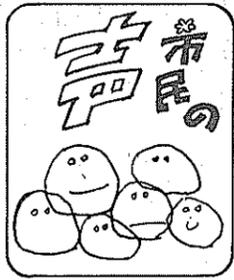
いずこゆかさして来にけむ一条の
 光てらさむ今日もいそむ
 大埔 中田靈秀
 三十路なる息子の誕生日にと荷を
 造り 郵便局へと母は出向きぬ
 園分 和泉金子
 わが憂い次つぎかたち変え来て
 落ちて着けず待つ精密検査
 島本 栄

全国母親大会に参加して

安岡 静子 (大塚保育所)

はじめて全国母親大会に参加して、若いお母さんや保母さんが多いのにひと安心。出発前には母親でないで心配していたが、全国のお母さん方の意見や運動を知りたくて勇気をふるって参加した。

第一日目の分科会は、「よりよい保育所と保育所づくり」に参加しよう」と出発前から決めていた。分科会の会場は富田中学校の体育館で、参加者の熱気と風通しの悪いことで汗をふきながら話し合っていた。



午前中は、分科会に分かれて各自が自己紹介をかねて問題を出し合った。私は、保育労働者の問題の参加者の大部分が若い保母さんたちで、全国各地の公立、私立、無許可保育所の労働条件や悩みを出しあった。

特に多かったのは、長時間保育の問題で、正職員が時差で出勤している園、正職員が超過勤務でおこなっている園、パートやアルバイトなどにまかせきりの園など、いろいろな方法でおこなわれている。母親が安心して働けるためには、通勤時間にもあった長時間保育が必要だということは認めているものの、保母の労働時間や労働過重の問題があり、まだ取り組んでいないという園も多かった。

その他には、地方公共団体の赤字財政のため労働条件が今までよりもきびしくなってしまうとか、休憩時間がとれないとか、保母の職業病とか、同じような悩みをもっていることがわかり、各地域で独自の取り組みをすることも必要だが、全国的な運動に発展できれば大きな力になるだろうと思った。

午後には、分科会の話をもとにして全体討議となり、各地の運動が出された。大阪の大塚市では、無認可保育所を認可保育所にする運動とともに直接厚生省と交渉して



「ご家庭で話し合ってください。答えは今月号の広報に出ています。」

■もしめきり・十二月十五日(木) おくり先・〒783 南園市 大塚 南園市役所内広報委員会 親子クイズ係

■答えのハガキには必ずお歳・職業を書いてください。

■しようひん・特賞(千円) 13人 残念賞 (記念品) 10人

第七十四回正解発表表

市民賞受賞の想い

第十回市民賞受賞の一人としてわが古市部落の島田房一さんが選ばれたことは、島田さんの功勞を想えば当然のことながら、この小さい古市部落から名譽ある受賞者が出たことが私にとっても嬉しく、心からおめでとくと祝福せずにはられません。

島田さんは曲がったことが嫌いで頑固一徹者のように言われますが、今の若い男性の方にこの島田さんの「古武士の気骨」のような風格を少しは見習ってほしいと思っています。女だか男だか判らない男性がふえてしまつて、女性の「きげん」とりに浮身をやつしているから「女性上位」などという変な言葉が流行してしまつたではないか、「男性よ、しっかりせよ」と私は言いたい。

島田さんのよさはまだまだあります。八十五歳にして少しも年寄りくささを感じさせないのです。いつも目にかかっても、晴れ晴れと輝いている顔。今でも「老人クラブなどには入らんぞ」と頑張っているときいて、私は嬉しくて拍手を送りたいと思いました。この若さの原因はいろいろあると思いますが、まずあげたいのは「常に学ぶ心で前向きに生きていること」、寝てもさめても地域社会の福祉向上を考えておられることです。昨日も明日もない。今日に生きよ」という言葉がありますが、人間が昔のことを考えるようになったら年を取った証拠であるとか。私たちも過去のことは忘れて自分の仕事に誇りを持って、「今日」を真剣

第四回文化祭を省みて

島村 辰彦 (文推協副会長)

十六部門、二十一団体七百五十余名の会員及び本年度よりダンス部門も参加して、第四回南園市文化祭が十月二十九日より十一月四日まで開催され盛況のうちを終りました。

期間中文推協会員の方々とご支援くださいました関係者に対し心より感謝致します。

舞台部門については日本舞踊、箏曲、大正琴、詩吟、詩舞、コーラスと全部間を通じて日頃の

研さんと練まの成果が伺われる出来ばえであり年々意欲と技術が高揚していることが感じられ、展示部門、舞台部門共に回を重ねるごとに格段の進歩が見られ本当に喜ばしい事であるが進行についてはまだまだ反省しなければならぬ事が多い。文化芸術に終点はない高い目標を掲げ一歩一歩前進し創造と実践、相互扶助の精神と人間関係の和をモットーにして今後文化祭の行事を進めて行きたい。

十一月三日の文化の日には入場券二百余名を数え一時は椅子が不足した様であったがご案内申しあげた老人クラブの方々も終日楽しく観賞して頂く事が出来た様です。観賞して頂く成果であった。またダンス部門のパンと牛乳の販売は観客へのサービスとなり多くの人を集め、茶道部の立礼お茶席は出演者ならびに観客の休憩の場所となり文化祭らしい方法であった大変効果的であったと思う。

十月三十日の六市町交流共進大会においては交流の意義が徹底していないかとの上あいにくの雨で入場者自名足らず、主催側である南園市として各市町の出演

者に申し訳ない事であった。舞台においては、格調の高い演技をひろうして頂きました。また今回高知市教育委員会の紹介により立礼パレードの参加出演もあり多彩な文化交流大会であった。もっともっと多くの市民の方々に観て頂きたかったと残念に思われる。

終了後各市町の出演者及び南園市の会員を交へて一堂に集まり親睦談話と反省会を行い文化交流祭の将来の方向や文化行事がいかにすれば大衆の中に溶け込んで行くのか市民と共に歩んで行く事が出来るのかなど多くの問題点を討議した事では大きな成果を得たと思

長野 福美 (古市 主婦)

に悔いなく生きて、島田さんにつづこうではありませんか。

また、同時に受賞されました岡田さん、山本さん、五百蔵さん、利岡さん、本当におめでとうござります。あなた方は南園市の宝です。いつまでもお元気で、活躍くださいますよう祈らせていただきます。市民の一人として感謝に替えたいと思います。

交流文化祭について南園市の行政は無関心ではないか、他の市町村に比較しても文化行事に非協力的ではないか、南園市の文推協役員は市の行政にもっともっと働きかけてはどうかなどと他市町の出演者にご指摘を受けた事は我々として本当に恥ずかしい思いであった。

来年度は万全を期して計画を練り本年の反省を土台として盛大に五周年記念大会を催してはどうであろう。

今後共市民の皆様方のご支援とご指導をお願いしたいと思